



東京工業大学名誉教授・前学長 伊賀健一氏

（一画から続く）

が受験科目を少なくしたので、国立大学も少なくしてしま...

石版 私の時代には国立大学の受験は5教科7科目でした。確かに受験に出るもの...

科学する心を 育むまち

伊賀 フランクリン賞・パウワー賞の授賞式に参列するため、米国フィラデルフィア市に招かれたのですが、「アワードウィーク」といって一週...



石版丈一町田市長

子育ての中で理科教育を

高校の理科の先生が少なくなっています。先生がいなければ、子どもも学びようがない...

石版 非常に刺激的な催しですね。特に高校生は自分の生き方を考える時期なので、そういう時に世界的な科学者と話をすることは刺激になるでしょうね...

町田への思い 町田に住んで45年以上になります。町田市というのは、市としてのサイズが非常に良いと思います。

伊賀 先ほどの受験科目の削減に戻りますが、その結果、基礎も応用もできるバランスの良い人材を育てる

て何らかのことを考えないといけないと思います。

石版 町田市でも大地沢青少年センターを利用して、パソコンなしの生活体験ということ、市内の小中学生を対象に泊りがけの「子どもキャンプ」を実施しています。

伊賀 昔からの自然があるし、都会にも近い。大学も多いですね。東工大すずかけ台キャンパスは行政区は横浜ですが、アクセスは町田市のすずかけ台駅です。大学が多いということは、経済効果も大きいと思います。20代の若者が多く集まるから活力も生まれます。

石版 大学と連携しやすいですし、大学キャンパスが多くあるのは教育の環境としてとても良いと思っています。

伊賀 ぜひ、薫り高い文化都市ということを、市全体で打ち出して下さい。

未来を担う 若者たちへ グローバルなひとづくり

伊賀 子ども時代、野山を走り回った話に戻りますが、この野山が大切なんです。野山と山とがあるあいまいな空間で、それが子どもたちを育てる。しかし、今はそういう野山がある時代とは変わってきています。教育の仕組みとして

が、もともとの原理を習うと子どもたちはものすごく面白がります。原理を理解させる教育が必要ですね。例えば、日本人は九九があるから計算が早い。しかし、覚えているだけだから応用ができない。覚えることは記憶力ですが、大事なものは原理を理解する思考力です。英語力以前に、原理を学ぶことが重要だと思います。基礎を学んで、なおかつ独創性が発揮できる人材でないと世界を相手にやっていけません。きちんとしたトレーニング（訓練）と柔軟な発想力、その両方を掛け算した教育が必要です。

石版 小・中学生はなんでも吸収する年代ですから、トレーニングもするし柔らかな発想もする、その両方ができると思いますよ。そういう教育ができるまちでありたいですね。基礎もやるし応用もやる。バランスのとれた人材を育てるまち、さらに、安心して子育てができるまちでもありたいと思います。そのため、伊賀先生には今後ぜひ意見・ご教示をお願い致します。本日はありがとうございました。

伊賀 教育の現場でも原理とつか、もともとの考え方をよく教えることが重要です。小・中学校ではぜひとも暗記させることが多いのです。

石版 先ほどの、家庭での理科教育もそうですが、小さいころから教育することが大事ですね。

伊賀 教育の現場でも原理とつか、もともとの考え方をよく教えることが重要です。小・中学校ではぜひとも暗記させることが多いのです。

伊賀健一氏プロフィール

広島県出身。1968年東京工業大学大学院博士課程修了(工学博士)。同大学において、教授、精密工学研究所長、図書館長、学長を歴任、2001年名誉教授。大学卒業研究からレーザーを中心とする光エレクトロニクスの研究を始め、1977年に面発光レーザーを発案し世界で初めて実用化。面発光レーザーは現在、コンピュータマウス、インターネットのLAN、レーザープリンター、スーパーコンピュータなど世界的に応用されている。その研究は内外で高い評価を受け、紫綬褒章、朝日賞、藤原賞、米国電気電子学会ノーブル賞、NHK放送文化賞等を受賞。2013年4月、世界的学術賞で工学分野のノーベル賞とも言われている「フランクリン賞・パウワー賞」を受賞した。また、1975年より町田フィルハーモニー交響楽団のコントラバス奏者として演奏し、運営委員長も2期務める。1990年から町田フィル・パロック合奏団を主宰し、国際交流コンサート、町田市近隣のボランティア演奏会など幅広く活動中。

二十祭まちだ応援事業 お誕生日の新聞「ピー」をプレゼント

新成人の皆さんに、図書館でお誕生日の新聞のコピー(3ページまで)をプレゼントします。

※お渡しは、後日取りに来ていただくか郵送となります。 ※町田ゆかりの著名人による小冊子「はたちに贈るこの一冊」も配布します。 期間 1月5日(日)～31日(金) 申込書に記入し、直接各市立図書館カウンター(さるび

ちよつとした心がけで ぽかぽかに 冬を快適に過ごしましょう

これから、1年で最も寒さが厳しい季節を迎えます。 適切な運動や厚手の靴下・ひざかけの活用、温かい食事や飲み物の摂取、厚手のカーテン使用などで、健康的で暖かく過ごすことができます。 また、過剰な電力使用を控えることもできます。 ちよつとした心がけや工夫で、冬を快適に過ごしましょう。



朝食から 寒さに負けない 身体づくり

最近では低体温の人が増えているようです。朝食を食べなかったり、偏った食事をしていて体温が上がらず、冷えや寒さを感じやすくなります。寒さに負けない身体を作るためにも、朝食をしっかり取りましょう。 朝食を食べると体温が上がるだけでなく、記憶力や集中力も高まり、仕事や勉強にも良い影響を与えます。体温をしっかり上げるためには、おにぎりやパンだけの食事ではなく、たんぱく質等も含むバランスのとれた食事内容がよいでしょう。具沢山のスープもお勧めです。 健康課 ☎725・5178 FAX725・5198